



田辺三菱製薬

田辺三菱製薬株式会社

2008年度第2四半期 決算説明会

2008. 11. 4
於：経団連会館

代表取締役社長
葉山夏樹



2008年度第2四半期 決算概要

(平成21年3月期)

2008年度第2四半期累計期間 決算概況

(2008年4月～9月)



田辺三菱製薬

	2007年度	2008年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,077	2,063	-14	-0.7	2,060	100.2
売上原価	758	789	+31	+4.2	745	106.0
売上原価率	36.5%	38.3%			36.2%	
販管費	922	933	+11	+1.2	980	95.2
営業利益	397	341	-56	-14.2	335	101.7
経常利益	402	351	-51	-12.6	340	103.4
四半期純利益	204	164	-40	-19.5	150	109.2

2007年度：旧田辺製薬と旧三菱ウェルファーマの単純合算

当初予想：2008年5月7日決算発表時に公表した2008年度上期予想値

セグメント別売上高



【2008年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2007年度	2008年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,077	2,063	-14	-0.7	2,060	100.2
（うち海外売上）	(189)	(190)	(+1)	(+0.7)	(215)	(88.5)
医薬品事業	1,927	1,910	-17	-0.9	1,912	99.9
国内医療用医薬品	1,673	1,651	-22	-1.3	1,635	101.0
海外医療用医薬品	118	134	+16	+13.3	126	106.5
一般用医薬品	31	29	-2	-7.2	26	110.0
その他	105	96	-9	-8.8	126	76.4
その他事業	150	154	+4	+2.4	148	104.0

国内医療用医薬品 主要製品売上高



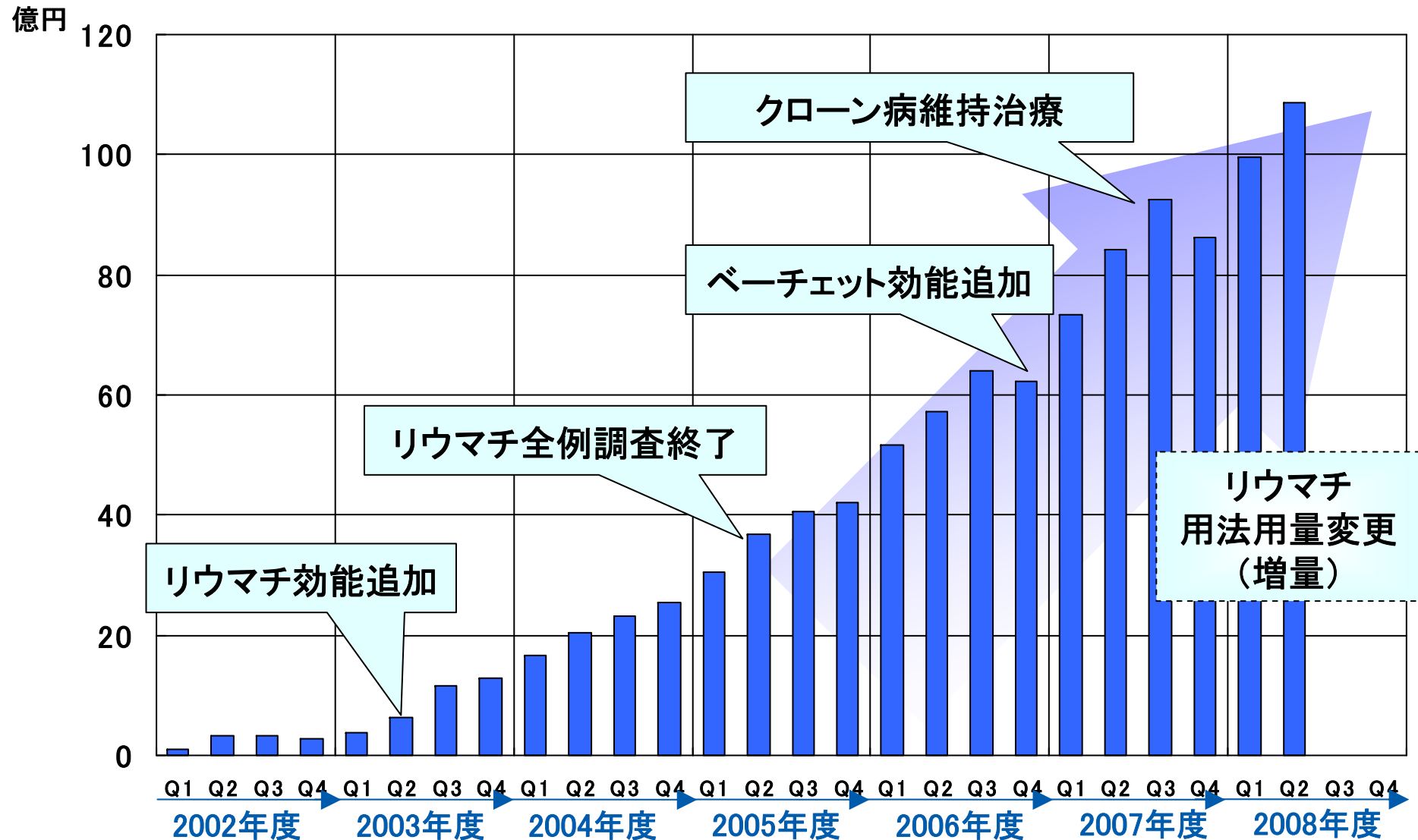
【2008年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2007年度	2008年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	1,673	1,651	-22	-1.3	1,635	101.0
レミケード	135	177	+42	+31.5	167	106.3
ラジカット	146	139	-7	-5.0	144	96.3
アンプラーグ	92	91	-1	-1.1	98	92.4
ウルソ	84	80	-4	-4.3	89	90.4
タナトリル	64	61	-3	-5.6	64	95.1
タリオン	31	35	+4	+13.3	38	91.6
セレジスト	79	82	+3	+3.9	77	105.8
ヘルベッサー	67	60	-7	-10.5	61	99.0
デパス	58	59	+1	+1.3	61	96.5
ヴェノグロブリン-IH	63	56	-7	-11.8	60	93.0
ワクチン	69	103	+34	+50.1	65	159.1
(内、ミールビック)	(44)	(72)	(+28)	(+63.1)	(47)	(151.8)

レミケード®の売上推移(薬価ベース)



【2008年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬



売上原価・販管費



【2008年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2007年度	2008年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,077	2,063	-14	-0.7	2,060	100.2
売上原価	758	789	+31	+4.2	745	106.0
売上原価率	36.5%	38.3%			36.2%	
販管費	922	933	+11	+1.2	980	95.2
研究開発費	366	376	+10	+2.7	395	95.2
人件費	272	252	-20	-7.2	250	101.0
販売促進費	71	57	-14	-19.6	74	77.3
のれん償却額	0	50	+50	-	50	100.5
その他	212	197	-15	-7.2	211	93.4
営業利益	397	341	-56	-14.2	335	101.7

營業外損益・特別損益



【2008年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2007年度	2008年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	397	341	-56	-14.2	335	101.7
営業外損益	5	11	+6		5	
経常利益	402	351	-51	-12.6	340	103.4
特別利益	2	1	-1		-	
特別損失	69	48	-21		65	74.4
特別退職金	16	39	+23			
減損損失	-	6	+6			
合併関連費用	37	-	-37			
工場閉鎖損失	14	-	-14			
四半期純利益	204	164	-40	-19.5	150	109.2



2008年度業績見通し

(平成21年3月期)

2008年度 業績予想の修正



田辺三菱製薬

	当初予想	今回予想	修正	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,250	4,200	-50	-1.2
売上原価	1,590	1,615	+25	+1.6
売上原価率	37.4%	38.5%		
販管費	1,910	1,855	-55	-2.9
営業利益	750	730	-20	-2.7
経常利益	760	745	-15	-2.0
特別損失	80	105	+25	+31.3
当期純利益	390	355	-35	-9.0

2008年度 業績予想の修正

—セグメント別売上高—



田辺三菱製薬

	当初予想	今回予想	修正	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,250	4,200	-50	-1.2
医薬品事業	3,956	3,907	-49	-1.2
国内医療用医薬品	3,391	3,371	-20	-0.6
ワクチン	163	207	+44	+26.8
レミケード	357	373	+16	+4.6
アンプラーグ	202	186	-16	-8.1
ウルソ	180	164	-16	-9.3
ヴェノグロブリン-IH	122	110	-12	-9.4
タナトリル	126	119	-7	-5.7
ラジカット	293	287	-6	-2.0
ジェネリック	59	42	-17	-27.4
海外医療用医薬品	263	267	+4	+1.4
一般用医薬品	57	56	-1	-1.9
その他	244	213	-31	-13.0
その他事業	294	293	-1	-0.3

2008年度 業績予想

—前年比較—



田辺三菱製薬

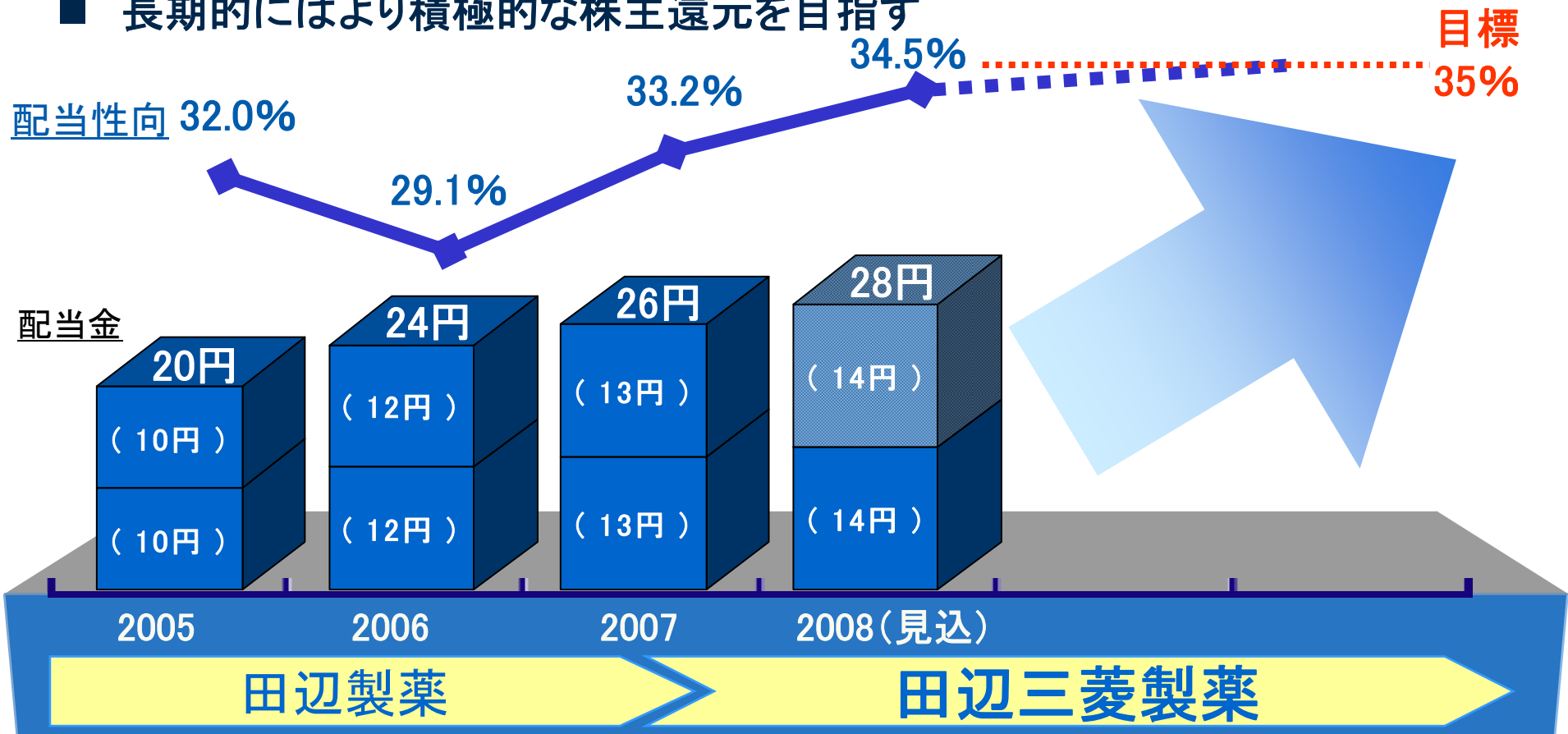
	2007年度	2008年度	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,094	4,200	+106	+2.6
医薬品事業	3,795	3,907	+112	+2.9
その他事業	299	294	-5	-1.8
売上原価	1,505	1,615	+110	+7.3
売上原価率	36.8%	38.5%		
販管費	1,864	1,855	-9	-0.5
研究開発費	723	740	+17	+2.3
人件費	530	494	-36	-6.8
のれん償却額	51	100	+49	+94.7
営業利益	725	730	+5	+0.7
経常利益	736	745	+9	+1.2
特別利益	20	1	-19	-95.0
特別損失	203	105	-98	-48.3
当期純利益	319	355	+36	+11.2

* 2007年度実績は単純合算

株主還元



- 連結配当性向35%（のれん償却前利益ベース）を目標とする
- 長期的にはより積極的な株主還元を目指す



※ 2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金と田辺三菱製薬の期末配当予定額を用いております。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却費およびHCV訴訟損失引当金繰入額を除いた利益と期末配当予定額から算出しております。



中期経営計画08-10

経営課題の進捗状況

08-10中期重点課題とアクションプラン



国内営業のプレゼンス向上

重点開発プロジェクトの確実な推進

海外医薬品事業展開の推進

ジェネリック医薬品事業の推進

効率的な組織・コスト構造の構築

国内営業のプレゼンス向上



◆ レミケードの製品価値最大化

- 専門担当者増強 95名 → 170名 (2008/4)
- 効能追加 強直性脊椎炎申請 (2008/9)

◆ 脳領域の専門性向上

- 専門担当者充実 15名(合併前) → 45名 (2007/10) → 50名 (2008/10)

◆ プロモーション体制

- 完全1ライン化 (2008/4)
施設担当MRと領域専門担当者の連携
病院販路: 診療科別複数担当制
開診販路: エリア複数担当制

Multiple Cover System

◆ グループ営業の連携強化

- 田辺製薬販売 (2008/4)
- ベネシス プロダクト・マネージャー増員 35名 → 80名 (2008/10)

◆ その他

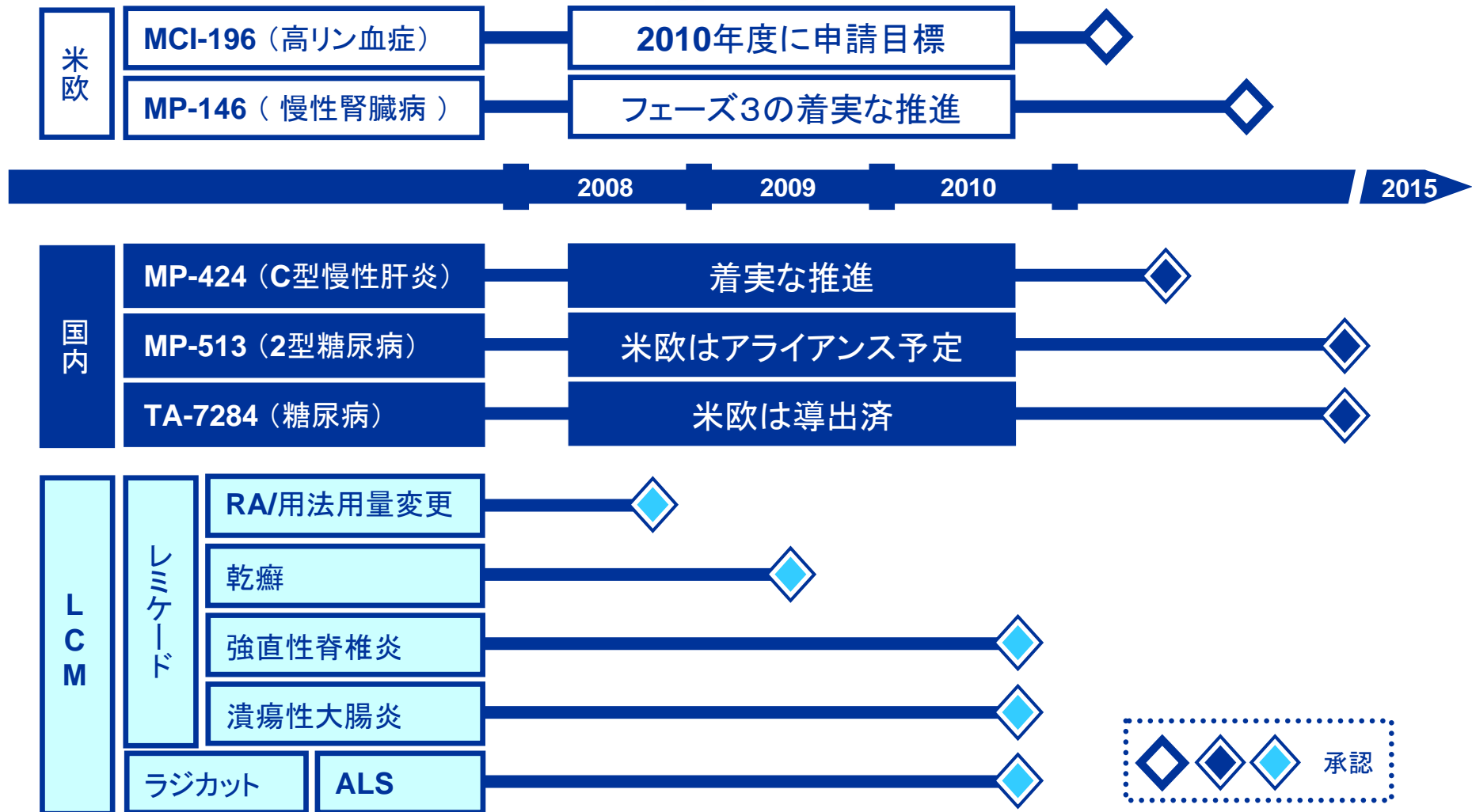
- 「メドウェイ注」新発売 (2008/5)
- 「グルコバイ」共同販売開始 (2008/9)

重点開発プロジェクトの確実な推進



田辺三菱製薬

中期経営計画
Dynamic Synergy
for 2015



◆ MCI-196、MP-146の米欧展開に向けた自販体制の整備

- サイトクローム社 CTA018 ライセンス契約
二次性副甲状腺機能亢進症治療薬
米国における腎領域パイプラインの充実

◆ アジア事業展開の推進

- 既存の事業基盤を最大活用、自販品目の拡大

ジェネリック医薬品事業の推進



◆ 営業体制

- 田辺製薬販売設立（2008/4）

◆ アライアンス

- 長生堂製薬との資本業務提携、株式(51%)取得完了（2008/8）
- 長生堂製薬グループを含めたジェネリック事業計画見直し

◆ リライアブルジェネリック供給体制

- GE事業推進会議設置
（研究開発体制、くすり相談センター、PMS体制、品質保証体制）
- ジェネリック医薬品 9成分15品目を新発売（2008/7）

効率的な組織・コスト構造の構築



◆要員適正化

- 早期退職 217名 (2008/9)
- 人事制度統一(2008/10)、年金統合(2009/4)

◆拠点統合

- 名張第2研修所閉鎖(2008/5)
- 枚方事業所を加島に集約(2008/12)
- 本社移転プロジェクトスタート(2009秋移転)

◆関係会社再編

- 生産子会社統合『田辺三菱製薬工場株式会社』(2008/10)
- サービス機能子会社統合(2009/4)

◆コスト削減

- コストシナジー115億円創出

Dynamic Synergy for 2015

— 国際創薬企業に向けて —



めざす姿

2015年度目標

- 「代謝・循環」パイプライン強化
- 国内大型製品上市・育成
- 米国自販体制確立と海外医薬品売上高1,000億円以上
- 競争優位なビジネスモデル

中期経営計画08-10 重点課題

- 国内営業のプレゼンス向上
- 重点開発プロジェクト推進
- 海外医薬品事業展開推進
- ジェネリック医薬品事業推進
- 効率的組織・コスト構造構築

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、当社が一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。